

電氣的消去・書替型オートスタートROM-DISKモジュール

EEROM-DISK(98)

EEROM-DISK(98)-01 ￥106,000
EEROM-DISK(98)-02 ￥140,000

EEROM-DISK(98)は、ボード上のメモリ実装状態により、01と02の2種類用意されており、それぞれ1ボード上に1.25MバイトのEEPROM(Electrically Erasable Programmable ROM)を実装しています。また、02タイプはこのEEPROMに加え0.5MバイトのS-RAM(Static RAM: バッテリバックアップ付き)を備えています。このEEPROMおよびS-RAMは、それぞれROM/RAMディスク1ドライブとして使用できますので、使用条件に応じてEEROM-DISK(98)-01あるいはEEROM-DISK(98)-02を選択いただけます。EEPROM(ROMディスク)は、1Mバイトタイプのコピーディスク1枚に相当し、フロッピーディスクをまるごとROM化することができ、しかもEEROM-DISK(98)のみでプログラムを自動立上げすることができます。また、ROM/RAMディスクは、機械的部分を持たないため、高信頼、高速のディスクシステムが構成できます。したがって、開発の完了したシステムをROM化して、ターゲットマシンへ装着することで、データ処理、コンパイル言語等ディスクアクセスの多いプログラムの高速化にフルにこの特長を発揮します。なお、本文中の説明は、EEROM-DISK(98)-01、EEROM-DISK(98)-02に共通です。それぞれのボードで仕様等に違いがある場合のみ、[]内にEEROM-DISK(98)-01の仕様を別記します。

特長

- ・電氣的消去タイプのP-ROMの使用により、ボードを実装したままでデータの消去および書替えが可能。
- ・書替え可能回数は10,000回以上と実質無制限。
- ・EPROMと同等のデータ保持能力。
- ・ROMディスク1.25Mバイト、RAMディスク0.5Mバイトを搭載。
[ROMディスク1.25Mバイトのみ]
- ・EEROM-DISK(98)から完全自動立上げを実現。

- ・フロッピーディスク、ハードディスクに比べ抜群の信頼性と高速処理。
- ・EEPROMへの書き込み機能をボード上に装備、ディスクのROM化を短時間で実現。
(ROM化には標準添付のユーティリティソフトを使用)
- ・BIOS ROMのアドレス選択によりドライブ番号を任意に設定可能。
- ・PC-9800シリーズの各機種に対応。
- ・本ボードの複数枚同時使用が可能。
- ・EEROM-DISK(98)を挿入したまま、通常パソコンとしても使用可能。

仕様

- ・メモリ容量 : ROMディスク1.25Mバイト/RAMディスク0.5Mバイト
[ROMディスク1.25Mバイトのみ]
- ・ドライブNo.の割付け : BIOS ROMのアドレスの選択により割付け
- ・BIOS ROMの物理アドレス : 0D0000H ~ 0D6FFFH (ノーマルモード時)
0E7000H ~ 0ECFFFH (ハイレゾリューションモード時)
- ・EEPROMへのデータ書き込み : ユーティリティソフトウェア (標準添付) を使用
- ・I/O アドレス : 8ビット × 16 ポート占有
FFD0H ~ FFDFFH 固定。
- ・使用素子 : ROMディスク 1MビットEEPROM × 10
P28F010-200 (インテル製)
RAMディスク 1MビットS-RAM × 4
HM66204L-15 (日立製)
- ・RAMディスク部記憶保持時間 : リチウム電池により1400日(TYP)
使用電池 CR12600SE (三洋電機製)
- ・消費電流 : DC5V, 350mA MAX
(DC12V, 70mA EEPROM書き込み時のみ使用)
- ・使用条件 : 0 ~ 50℃、20 ~ 90%RH. 結露なし
- ・適応機種 : PC/FC-9800シリーズ
(XL, XL², RLのハイレゾリューションモードでも可)

機能

EEROM-DISK(98)は、本ボードを装着したコンピュータの外部増設ドライブとして、コンピュータ本体から自由にアクセス可能なシリコンディスクで、以下の機能を提供します。

- ・EEROM-DISK(98)からの完全自動立上げを実現
システムの立上げにフロッピーディスク、ハードディスクを必要としません。もちろん、これらとの併用も可能です。ボード上のディップスイッチにより、ドライブ番号を指定し、割り振ります。(A~Dまたは1~4)
- ・フロッピーディスク、ハードディスクに比べ抜群の信頼性
機械的部分を持たないため、環境条件の悪い場所でも使用可能。パソコンの応用範囲が格段に広がります。
- ・ROMディスク1.25MB、RAMディスク0.5MBを搭載
ROMディスク部は、1Mバイトタイプのコピーディスク1枚に相当。フロッピーをまるごと1枚ROM化できます。また、RAMディスク部は、0.5Mバイトの容量で、ワークファイルや、管理データ、実績データ等のデータファイルとして使用できます。RAMはバッテリーバックアップされており、電源を切ってもデータは1400日間(TYP)保持されます(残量チェック機能付)。また、2枚、3枚と使用してドライブを拡張することも可能です。

- ・ディスクのROM化を短時間で実現

ROMライタ機能をボード上に搭載。添付の書込みソフトを用いることにより、ボードを拡張スロットに挿入したままの状態、最短約4分でROM化できます。

- ・フロッピーディスク、ハードディスクに比べ高速処理
フロッピーディスクの約150倍、ハードディスクの約30倍のディスクアクセス速度を持ちます。ROM化により、極めて良好な操作感覚が得られます。

- ・PC-9800シリーズの各機種に対応

初期型のPC-9801とPC-98XAおよびラップトップ型を除く全機種に対応。また設定によりPC-98XL、PC-98XL²、PC-98RLのハイレゾリューションモードでも使用可能。

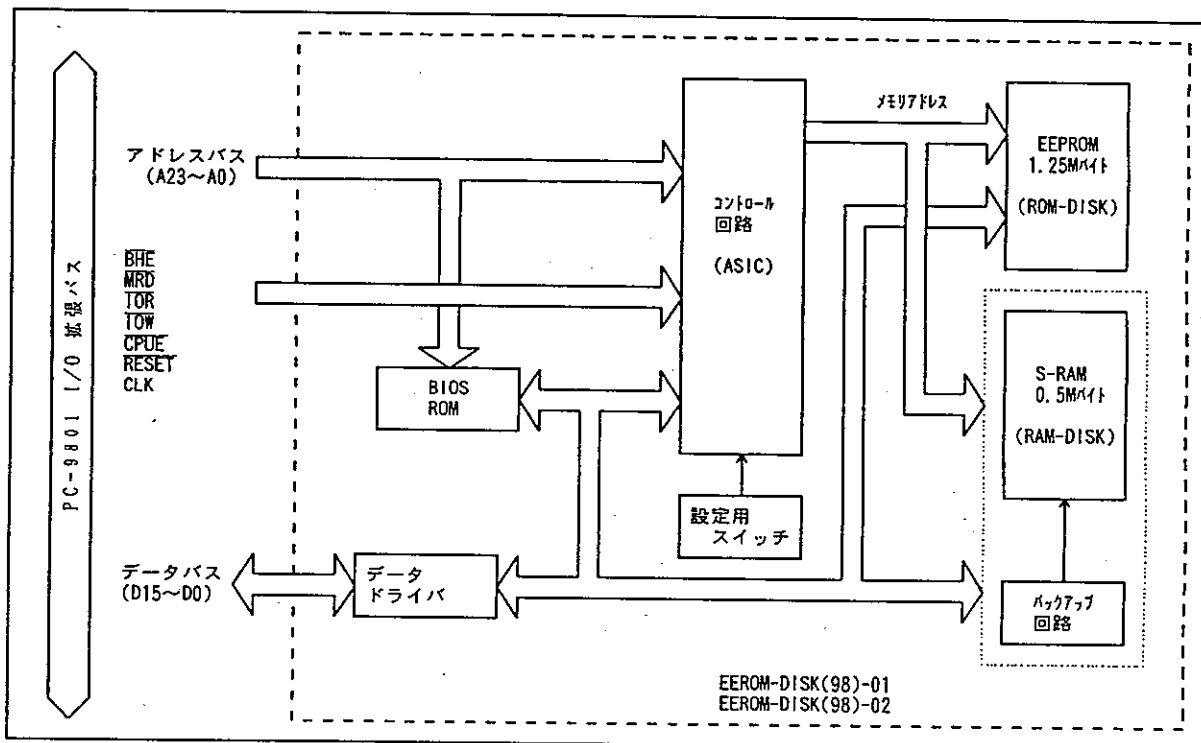
さらにFC-9800シリーズのRAMファイル付きでも使用可。

- ・EEROM-DISK(98)を挿入したまま、通常パソコンとしても使用可能

フロッピーディスクをROMディスクより若いドライブ番号に設定しておくこと、フロッピーディスクドライブにフロッピーが挿入されていない時はROMディスクから立上がり、挿入された場合はフロッピーディスクから立ち上がります。これにより、EEROM-DISK(98)を拡張スロットに挿入したまま、他のソフトを立上げて使用することができます。

- ・先進のパソコンネットワークシステムに威力を発揮
ネットワークのステーションには、本来フロッピーディスクは不要です。EEROM-DISK(98)の採用により、ローコスト・高信頼のステーションが実現できます。

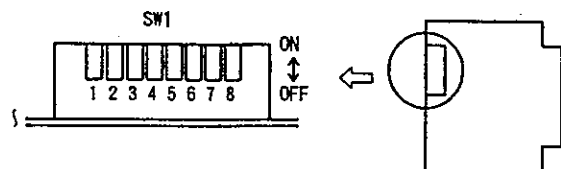
回路ブロック図



..... 内のブロックは02タイプのみ実装されています。

動作モードの設定

EEROM-DISK(98)には、ボード上に動作モードの設定用ディップスイッチ(SW1)が用意されています。この動作モードの設定では、本ボードを使用する上での各種動作条件を決定します。



スイッチ番号	機能	ON	OFF
1	ボードの全機能を有効/無効にします	ボードの機能が有効となります	ボードの機能が無効となります
2	I/O アクセス時のWAIT挿入	ノーウェイト	1ウェイト挿入
3	EEPROMへのライトプロテクト	書き込み許可	書き込み禁止 (SW2の設定に関係なく書き込み不可となります。)
4	PC-9801の動作モード	ノーマルモードに対応	ハイレゾリューションモードに対応 (注)
5	未使用	—	—
6~8	ドライブNo.の指定 (BIOS・ROMの物理アドレスの指定)	ドライブNo.の設定を参照	

(注) ハイレゾリューションモードはPC-98XL, XL², RLでのみ設定できるモードです。

ドライブNo.の設定

EEROM-DISK(98)のドライブNo.は、先の動作モードの設定と同時にディップスイッチ(SW1)で行います。この設定により、BIOS ROMのアドレスが選択され、本ボードを装着したコンピュータ本体から見た本ボード (ROMディスクあるいはRAMディスク) のドライブNo. が決定されます。PC-98XL, PC-98XL²およびPC-98RLのハイレゾリューションモードを除くPC-9800シリーズ全機種 (ノーマルモード) で使用する場合と、ハイレゾリューションモードで使用する場合は設定は下表の通りです。それぞれの使用モードに合わせてディップスイッチ(SW1)のビット4および6, 7, 8を設定してください。

・ノーマルモード時

SW1				BIOS・ROMの物理アドレス	DISKの種類	MS-DOSドライブNo.	MS-BASICドライブNo.
4	6	7	8				
ON	OFF	OFF	OFF	000000H ~ 000FFFH	ROM-DISK	A	1
					RAM-DISK	X	X
ON	OFF	OFF	ON	001000H ~ 001FFFH	ROM-DISK	B	2
					RAM-DISK	X	X
ON	OFF	ON	OFF	002000H ~ 002FFFH	ROM-DISK	C	3
					RAM-DISK	X	X
ON	OFF	ON	ON	003000H ~ 003FFFH	ROM-DISK	D	4
					RAM-DISK	X	X
ON	ON	OFF	ON	005000H ~ 005FFFH	ROM-DISK	C	3
					RAM-DISK	D	4
ON	ON	ON	OFF	006000H ~ 006FFFH	ROM-DISK	A	1
					RAM-DISK	B	2

(注) 初期型のPC-9801とPC-98XA及びラップトップ型は除きます。

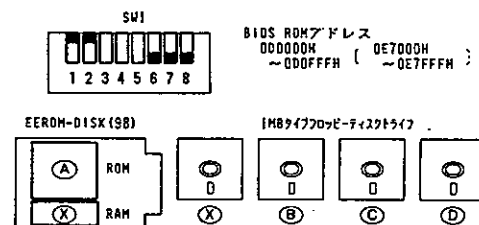
・ハイレゾリューションモード時

SW1				BIOS ROMの物理アドレス	DISKの種類	MS-DOSドライブNo.
4	6	7	8			
OFF	OFF	OFF	OFF	0E7000H ~ 0E7FFFH	ROM-DISK	A
					RAM-DISK	X
OFF	OFF	OFF	ON	0E8000H ~ 0E8FFFH	ROM-DISK	B
					RAM-DISK	X
OFF	OFF	ON	OFF	0E9000H ~ 0E9FFFH	ROM-DISK	C
					RAM-DISK	X
OFF	OFF	ON	ON	0EA000H ~ 0EAFFFH	ROM-DISK	D
					RAM-DISK	X
OFF	ON	OFF	ON	0EB000H ~ 0EBFFFH	ROM-DISK	C
					RAM-DISK	D
OFF	ON	ON	OFF	0EC000H ~ 0ECFFFH	ROM-DISK	A
					RAM-DISK	B

(注) PC-98XAは除きます。

ドライブNo.の設定例

EEROM-DISK(98)HのドライブNo.の設定例として、BIOSの物理アドレスを000000Hに設定した場合のドライブNo.割付けを以下に示します。この設定例では、ROM-DISK部のみがAドライブとして割付けられます。なお、() 内にはハイレゾリューションモード時のアドレスを示します。



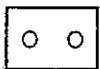
(注) 下記(1)~(3)は、それぞれ固有のBIOS ROMエリアを占有しています。同時に使用する時は、重ならないエリアで使用して下さい。

- | | |
|---------------------|-------------------|
| (1) NEC製 RS-232Cボード | 000000H ~ 003FFFH |
| (2) NEC製 GP-18ボード | 004000H ~ 005FFFH |
| (3) 640KバイトタイプFD | 006000H ~ 006FFFH |

バッテリーバックアップの設定

EEROM-DISK(98)-02は、ボード上にEEPROM(ROMディスク)の他、0.5MバイトのS-RAM(RAMディスク)を搭載しています。このRAMディスクは、リチウム電池によって記憶データをバックアップでき、このバックアップ機能の有効/無効の設定は、ボード上のジャンパ(JP1)によって任意に行うことができます。このバックアップ機能を有効として設定することにより、本ボードを装着したコンピュータの電源が"OFF"の際にS-RAMに対してこの電池から電流が流れ、記憶されたデータが保持されます。

JP1

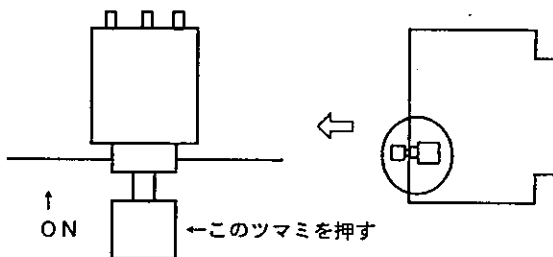


JP1	ショート	オープン
バックアップ機能	有効	無効

バッテリーチェック

EEROM-DISK(98)-02には、ボード上にS-RAMバックアップ用電池(リチウム電池)のチェック用スイッチ(SW2)と確認用LED(LED1)が用意されています。リチウム電池には寿命(1400日TYP)がありますので、この蓄電量をチェックし、必要な時期に交換する必要があります。チェック方法は、本ボードを装着したコンピュータの電源が"ON"の時に、SW2を押すことによって、電池の蓄電状態がLEDでモニタできます。

SW2



LED1	内 容
点灯	リチウム電池はまだ使用可能です。
消灯	リチウム電池の寿命がきています。

ROM化(書込み)方法

EEROM-DISK(98)には、EEPROMへのデータ書込みに必要な機能がボード上に搭載されていますので、本ボードのみでROM化が可能です。また、書込みに際しては、標準で添付されるユーティリティソフトを使用します。このROM化方法を以下に示します。

●ROM化に必要なツール

- ・1Mバイトタイプフロッピーディスクドライブ(内蔵または外付け)を持つパソコン
(但し、初期型のPC-9801、PC-98XA、ラップトップ型、拡張スロットが2スロットの機種を除く)
- ・添付書込みユーティリティソフト
(但しこれを実行するには、MS-DOSシステムディスク(Ver2.11以上)が必要です)

●ROM化の対象となるフロッピーディスクフォーマット

- ・MS-DOS 1.2Mバイトフォーマット
またはN88-日本語BASIC(86)1.0Mバイトフォーマット

●ROM化のためのフロッピーディスク作成

・MS-DOSの場合

1枚のフロッピーディスクに、MS-DOSのシステムおよび必要なプログラムをCOPYしてください。オートスタートをかける場合は、AUTOEXEC. BATファイルも作成してください。

・N88-日本語BASIC(86)の場合(DISK BASIC)

1枚のフロッピーディスクに、システムおよび必要なプログラムをCOPYしてください。オートスタートをかける場合は、IDセクタを書き替えてください。

●書込み方法

- ・ROMを実装した状態で、ボードをパソコンの拡張スロットに挿入
- ・添付の書込みユーティリティプログラム"EECOPY"を起動

以上でCRT上にメニューが現れ、対話形式により①転送元メディアの選択、②書込み実行またはコンペアチェックの機能選択、③送り側ドライブの指定を行い、ROMへの書込みを行うことができます。

(注) ROMの書込み時、I/O拡張バスのDC12Vを使用します。

DC12Vの電流容量が70mA以下の機種や、DC12Vの電源が供給されていない拡張ユニット等ではROM化できません。別のコンピュータでROM化したものを使用してください。

取扱い上の注意

EEPROM-DISK(98)-02には、ボード上にリチウム電池が搭載されています。したがって、ボードを扱う際に導電性のものの上に置いたりすると、電池が短絡しトラブルの原因となります。このように本ボードを導電性のものの上に置いたり、触れたりしないように、取扱いにご注意ください。

商品構成

EEPROM-DISK(98)ご購入時は、次のもので構成されています。

- ・ EEPROM-DISK(98)-01
 あるいはEEPROM-DISK(98)-021
- ・ リチウム電池 (-02タイプのみ)1
- ・ 解説書.....1
- ・ ROM化ユーティリティソフト
 5インチ2HD(MS-DOS).....1
- ・ 顧客カード.....1

第2章 特 長

EEPROM-DISK (98) は、最大1.25MバイトのEEPROM（フラッシュ型電氣的消去可能PROM）と0.5MバイトのS-RAM（バッテリーバックアップ付き）を1枚のボード上に搭載可能なシリコンディスクモジュールです。

機能的には1Mバイトタイプのコピーディスクと置き換える事ができ、アプリケーションプログラムをROM化することにより本ボードのみでプログラムの自動立ち上げを行うことができます。

なお、EEPROM-DISK (98) には弊社出荷時のメモリ実装の違いにより次の2つのタイプがあります。

EEPROM-DISK (98) 01

EEPROM 1.25 Mバイト のみ実装

EEPROM-DISK (98) 02

EEPROM 1.25 Mバイト + S-RAM 0.5 Mバイト実装

(1) EEPROM-DISK (98) からのシステム完全自動立ち上げ

システムの立ち上げにフロッピーディスクやハードディスクを必要としません。（もちろん、併用も可能です。）また、ドライブ番号の変更やアクセスの禁止等が、DIP-SWにより設定できます。

(2) 高信頼性

メカ部が全くなく、シリコン（半導体）のみでディスクが構成されているので、環境条件の悪い場所でもご使用になれます。

(3) 大容量のEEPROMとS-RAMを搭載可能

EEPROM-DISK (98) 一枚に1.25 MバイトのEEPROMと0.5 MバイトのS-RAMを搭載可能です。固定化したプログラムやデータはEEPROMに書き込み、また、変更する必要があるデータはS-RAMに書き込むことにより、ほとんどのアプリケーションに対してこれ一枚で対応することが可能です。

第3章 仕様

表 3 - 1 仕様

	項 目	仕 様
1	ROM-DISK 容 量 使用素子 個 数	(01, 02タイプに標準実装) 1.25 Mバイト 1 MビットEEPROM (フラッシュ型) D28F010-200P1C4 ・・・インテル製 10 ケ
2	RAM-DISK 容 量 使用素子 個 数	(02タイプにのみ標準実装) 0.5 Mバイト 1 MビットS-RAM HM66204L-15 ・・・日立製 4 ケ
3	ROM-DISKと RAM-DISKの 取扱い	ROM-DISK: 1MバイトFDと等価 RAM-DISK: 同 上 (但し、使用可能容量は 0.5 Mバイト)
4	BIOS・ROMの 容量と物理アドレス	容 量: 4 KバイトをSWにて選択 物理アドレス: 下記の範囲で1000H 単位 0D0000H~0D6FFFH (ノーマル 時) 0E7000H~0ECFFFH (ハイ・レゾ時)
5	EEPROMへの データ書き込み	添付FDのユーティリティソフトにより行う (他に基板を必要としません)
6	RAMのデータ バックアップ 型 式 期 間	内蔵リチウム電池により連続してデータを保持 可能 CR12600SE ・・・三洋電機製 1400日 (TYP)
7	占有I/Oポート	FFD0H~FFDFH 固定
8	モジュールサイズ	169.4 × 143.7 × 17.0 mm
9	消費電流	DC+ 5V: 350mA max DC+12V: 70mA max (注1)
10	使用条件	0~50℃ 20~90% 無結露

注1: DC+12VはEEPROMにデータを書き込む際にのみ必要とします。

(パソコン本体バススロットから供給)

第4章 スイッチ／ジャンパ等の説明

4-1 実装図

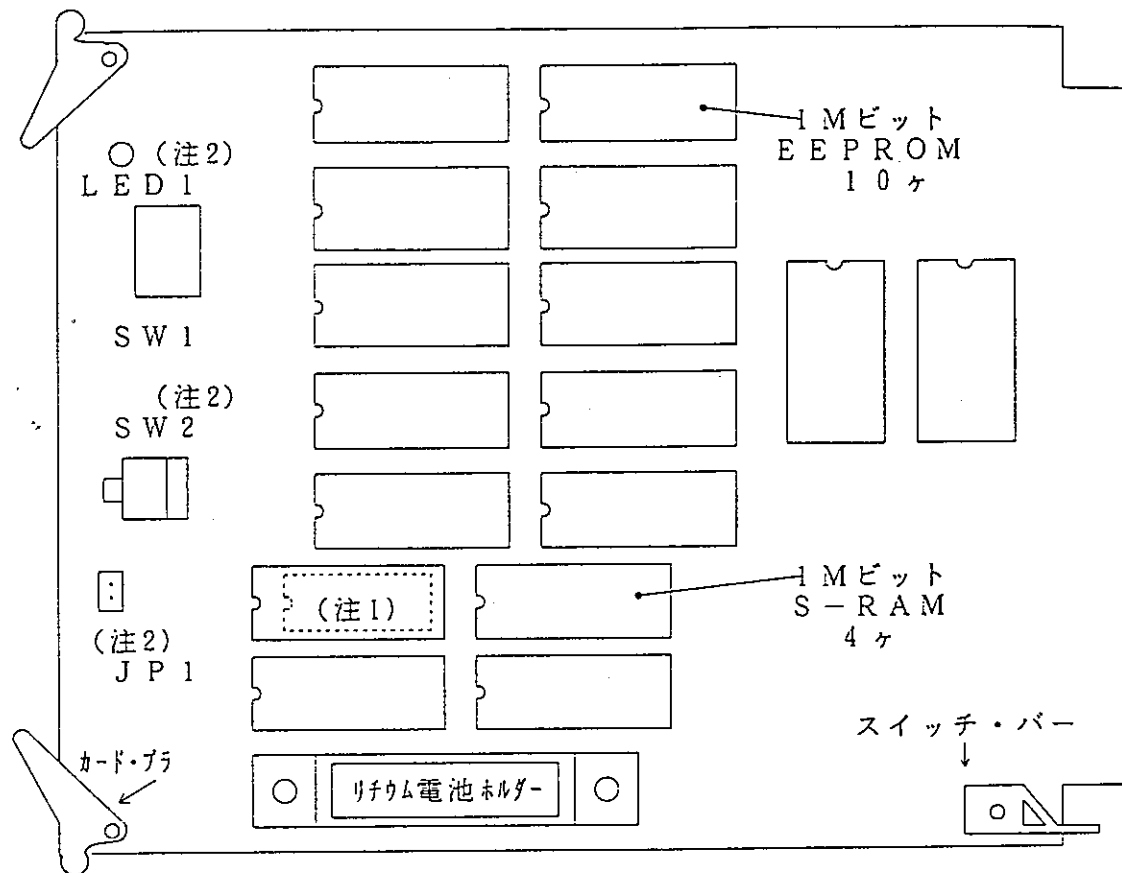


図4-1 実装図

(1) スイッチ類の説明

SW 1 : 動作モード設定用ディップスイッチ

SW 2 : バッテリー残量チェック用スイッチ

(2) ジャンパの説明

JP 1 : バッテリーバックアップ機能切り離し用ジャンパ

(3) 表示灯類の説明

LED 1 : バッテリー残量チェック用モニタLED

(注1) 01タイプではこの位置にHM62256が1ヶのみ実装された状態で出荷されています。

(注2) 01タイプでは、SW 2、JP 1、LED 1、リチウム電池ホルダーは実装されていません。

(4) 高速アクセス

フロッピーディスクの約150倍、ハードディスクの約30倍の高速アクセススピードが得られます。

(5) E E P R O M の書換えも本ボードのみで可能

R O Mライター機能を付加していますので、添付のユーティリティソフトを使用する事により、フロッピーディスクの内容を本ボードに書き込むことができます。

・ 1万回以上の書換えが可能です。

(但し、P C - 9 8 0 1 U V等の拡張スロット数が2スロットの機種ではD C + 1 2 V電源の容量不足のため、E E P R O Mへの書き込みは出来ません。)

(6) P C - 9 8 0 0 シリーズの全機種で使用できます

初期型のP C - 9 8 0 1とP C - 9 8 0 1 X A及びラップトップ型を除く全機種でご使用になれます。(但し、P C 9 8 0 1 U V, C VではE E P R O Mへの書き込みは出来ません。)しかも、設定によりP C - 9 8 0 1 X L, X L², R Lのハイレゾリューションモードにも対応することが可能です。また、F C - 9 8 0 0 シリーズのR A Mファイル付きでもご使用なれますが、F C - 9 8 0 0 シリーズ本体のR A Mファイルへのアクセスに一部制限がでますのでご注意ください。(詳しくは 5-2章参照の事)

(7) 複数枚の併用が可能

E E R O M - D I S K (9 8) を2枚、3枚と同時に併用することができます。

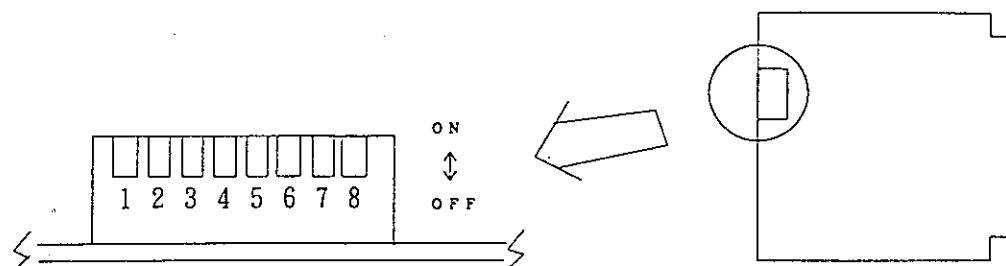
(8) 低消費電流設計

回路の大部分をゲートアレイ化しましたので、弊社従来製品に比べ大幅な低消費電流化を実現しました。

4-2 SW1の説明

SW1はE E R O M - D I S K (9 8) の動作モードを設定する為のディップスイッチです。御使用の目的に合わせて設定して下さい。

尚、上向きがO N、下向きがO F Fです。



スイッチ 番 号	機 能	O N	O F F
1	カードの全機能を有効／無効にします	カードの機能が有効となります	カードの機能が無効となります
2	I/Oアクセス時のWAIT挿入	ノーウェイト	1ウェイト挿入
3	EEPROMへのライトプロテクト	書き込み許可	書き込み禁止
4	PC-9801の動作モード	ノーマルモードに対応	ハイレゾリューションモードに対応 (注)
5	未 使 用		
6～8	ドライブNo.の指定 (BIOS・ROMの物理アドレスの指定)	4-2-1及び4-2-2章を参照して下さい。	

(注) ハイレゾリューションモードはPC-98XL, XL², RLでのみ設定できるモードです。

4-2-1 ノーマルモードでのドライブ番号の設定

PC-98XL, XL², RLのハイレゾリューションモードを除くPC-9800シリーズ全機種(注)で御使用になる時には次に示す表を参考にしてSW1の4, 6~8を設定して下さい。

SW1				BIOS-ROMの 物理アドレス	DISKの種類	MS-DOS ドライブNo	Nas- BASIC ドライブNo
4	6	7	8				
ON	OFF	OFF	OFF	0D0000H ~0D0FFFFH	ROM-DISK	A	1
					RAM-DISK	×	×
ON	OFF	OFF	ON	0D1000H ~0D1FFFFH	ROM-DISK	B	2
					RAM-DISK	×	×
ON	OFF	ON	OFF	0D2000H ~0D2FFFFH	ROM-DISK	C	3
					RAM-DISK	×	×
ON	OFF	ON	ON	0D3000H ~0D3FFFFH	ROM-DISK	D	4
					RAM-DISK	×	×
ON	ON	OFF	ON	0D5000H ~0D5FFFFH	ROM-DISK	C	3
					RAM-DISK	D	4
ON	ON	ON	OFF	0D6000H ~0D6FFFFH	ROM-DISK	A	1
					RAM-DISK	B	2

E E R O M - D I S K (9 8) を使用する際は、下記の (1) ~ (3) の各エリアと、混在しないように設定して下さい。混在した場合は動作しません。

(1) 0 D 0 0 0 0 H ~ 0 D 3 F F F H は N E C 製 R S - 2 3 2 C ボード上の拡張ROMの使用エリアです。

(2) 0 D 4 0 0 0 H ~ 0 D 4 F F F H は N E C 製 G P - I B ボード上の拡張ROMの使用エリアです。

(3) 0 D 6 0 0 0 H ~ 0 D 6 F F F H は 6 4 0 K B y t e F D の B I O S - ROMの使用エリアです。

(注) 初期型の P C - 9 8 0 1 と P C - 9 8 X A 及びラップトップ型は除きます。

4-2-2 ハイレスリジョンモードでのドライブ番号の設定

PC-98XL, XL², RLのハイレスリジョンモード(注)
で御使用になる時には次に示す表を参考にしてSW1の4, 6~8を
設定して下さい。

SW1				BIOS・ROMの 物理アドレス	DISKの種類	MS-DOS ドライブNo
4	6	7	8			
OFF	OFF	OFF	OFF	0E7000H	ROM-DISK	A
				~0E7FFFH	RAM-DISK	×
OFF	OFF	OFF	ON	0E8000H	ROM-DISK	B
				~0E8FFFH	RAM-DISK	×
OFF	OFF	ON	OFF	0E9000H	ROM-DISK	C
				~0E9FFFH	RAM-DISK	×
OFF	OFF	ON	ON	0EA000H	ROM-DISK	D
				~0EAFHH	RAM-DISK	×
OFF	ON	OFF	ON	0EB000H	ROM-DISK	C
				~0EBFFFH	RAM-DISK	D
OFF	ON	ON	OFF	0EC000H	ROM-DISK	A
				~0ECFFFH	RAM-DISK	B

(注) PC-98XAは除きます。

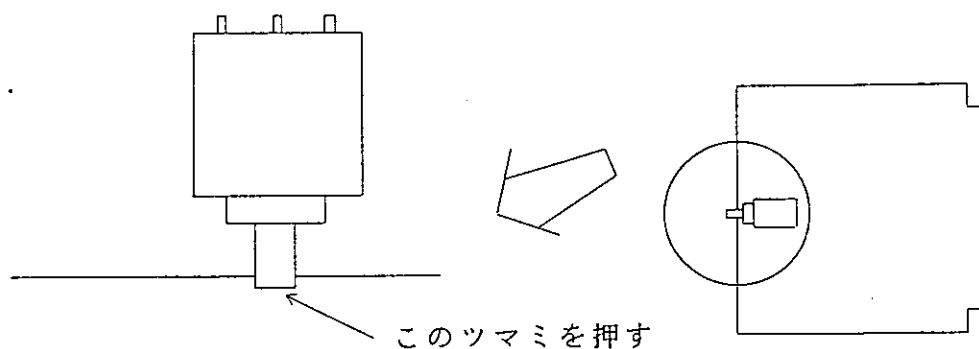
4-3 SW2 及び LED1 の説明

このスイッチはLED1との組合せで、S-RAMのデータバックアップ用のリチウム電池の蓄電量をチェックする為のものです。

PC本体の電源がONの時に、このスイッチを押してみた時

LED1が点灯：リチウム電池はまだ使用可能です。

“ 消灯： “ の寿命がきています。



4-4 JP1 の説明

JP1は、S-RAMのデータバックアップを行うかどうかを設定する為のジャンパです。

ジャンパを挿入することでPC-9801本体の電源がOFFの際にS-RAMに対してリチウム電池より電流が流れ、データが保持出来る様になります。

JP1	ショート	オープン
バックアップ機能	有効	無効

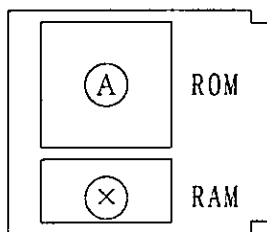
5-1-1 SW1の設定とドライブ番号の関係

次にSW1の設定とドライブ番号の関係を示します。なお、SW1の詳細については第4章を参照して下さい。

(1) SW1



EEPROM-DISK(98)

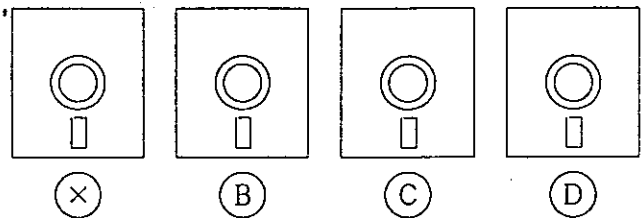


BIOS・ROMアドレス

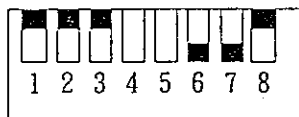
0D0000H
~0D0FFFH

(0E7000H
~0E7FFFH)

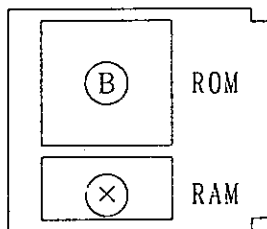
1MBタイプフロッピー



(2) SW1



EEPROM-DISK(98)

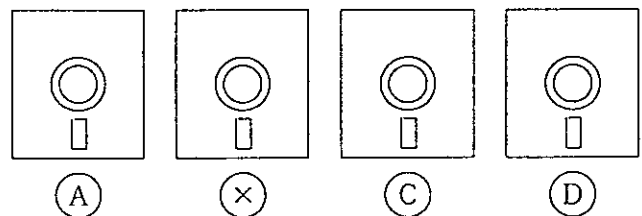


BIOS・ROMアドレス

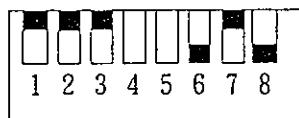
0D1000H
~0D1FFFH

(0E8000H
~0E8FFFH)

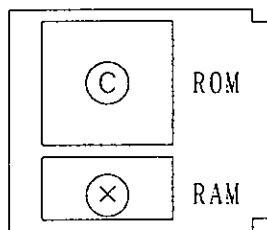
1MBタイプフロッピー



(3) SW1



EEPROM-DISK(98)

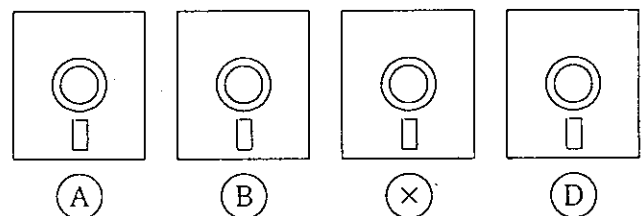


BIOS・ROMアドレス

0D2000H
~0D2FFFH

(0E9000H
~0E9FFFH)

1MBタイプフロッピー



[カッコ]内はハイレゾリューションモード時のアドレスです。

第5章 E E R O M - D I S K (9 8) の使用方法

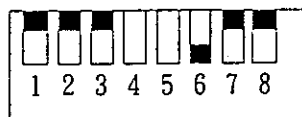
5-1 ドライブ番号について

E E R O M - D I S K (9 8) は、機能的には1 M B タイプのフロッピーディスクと置き換える事ができ、アプリケーションプログラムを含むディスクイメージをROM - D I S K 化することにより本ボードのみでプログラムの自動立ち上げを行うことができます。

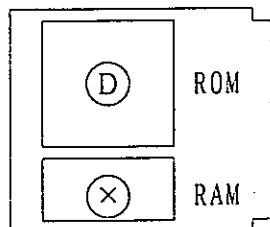
なお、御使用になられる際のドライブ番号はボード上のディップSW「SW1」の設定により変わりますが、このドライブ番号には以下の制限があります。

- (1) 1 M B タイプのフロッピーディスクと同一番号の設定をした場合には、当E E R O M - D I S K (9 8) 側が優先になり、フロッピーディスクの方はアクセスできませんのでご注意ください。
- (2) 6 4 0 K B フロッピーからシステムを立上げた場合には、当E E R O M - D I S K (9 8) にはドライブ番号が割付られなくなります。(ドライブとして機能しません。)

(4) SW1



EEPROM-DISK(98)

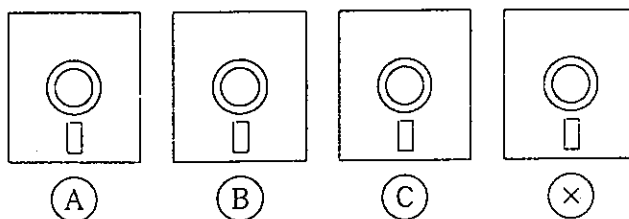


BIOS・ROMアドレス

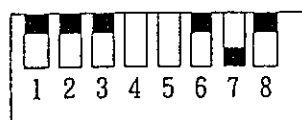
0D3000H
~0D3FFFH

(0EA000H
~EA7FFFH)

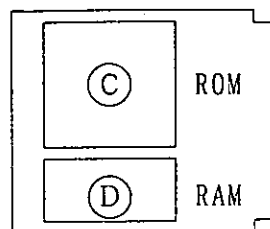
1MBタイプフロッピー



(5) SW1



EEPROM-DISK(98)

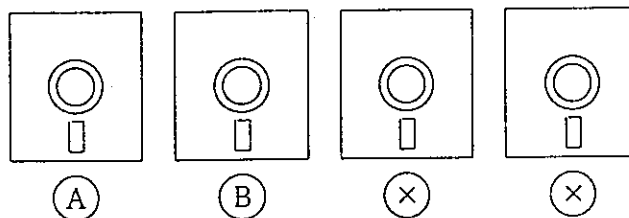


BIOS・ROMアドレス

0D5000H
~0D5FFFH

(0EB000H
~0EBFFFH)

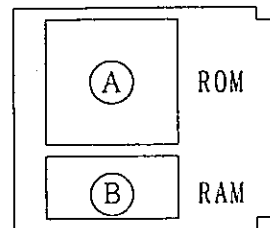
1MBタイプフロッピー



(6) SW1



EEPROM-DISK(98)

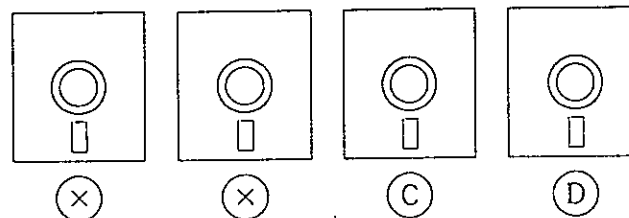


BIOS・ROMアドレス

0D6000H
~0D6FFFH

(0EC000H
~0ECFFFH)

1MBタイプフロッピー



[カッコ] 内はハイレゾリューションモード時のアドレスです。